

ぎふグリーン・ツーリズムネットワーク高山大会開催要領

1 目的

近年、地域資源を生かしたグリーン・ツーリズムの取組が広がり、県内各地で個性的かつ魅力的な活動が実践されるようになりました。

平成22年11月には第9回全国グリーン・ツーリズムネットワーク岐阜・三重大会が開催され、県内外の多くの関係者が議論、交流を行い、本県グリーン・ツーリズムの魅力と今後の可能性について情報共有することができました。

そこで、全国大会を契機として県内関係者がより広くより深いネットワークでつながり、県全体のグリーン・ツーリズムの底上げを図るとともに、県内外へ情報発信するため本大会を開催します。

2 テーマ

子どもの感性を育むグリーン・ツーリズムをいかにデザインするか
～教育旅行誘致の課題解決のために～

3 期日

平成24年1月25日(水)・26日(木)

4 場所

冬期体験プログラム 飛騨大鍾乳洞(高山市丹生川町日面)
第1分科会 旧大橋邸(高山市丹生川町日面)
第2・3分科会 シャレー中西(高山市丹生川町日影48)
全体会 丹生川文化ホール(高山市丹生川町町方1)

5 主催

岐阜県、岐阜県グリーン・ツーリズム推進連絡会議

6 後援(申請中)

東海農政局、岐阜県教育委員会、高山市、財団法人日本修学旅行協会
財団法人都市農山漁村交流活性化機構、特定非営利活動法人日本グリーンツーリズム・ネットワークセンター
飛騨高山教育旅行誘致推進協議会

7 協力

一般社団法人ふるさと体験飛騨高山、乗鞍グリーンツアー、飛騨大鍾乳洞観光株式会社
有限会社地域自然科学研究所

8 プログラム

第1日

時間	内 容
12:30～	受付開始(丹生川文化ホール1Fロビー)
13:30～16:00	冬期体験プログラムの紹介と実体験 氷の渓谷見学:高さ30mにもなる蒼白の氷柱で感動してください! かまくらづくり:カナダ・イヌイットの雪の家「イグルー」を作ります! かんじきウォーキング:はずれない着け方を習って雪歩きを楽しみます!



写真はイメージ



16:30～18:00	分科会 第1分科会「教育旅行受入の秘訣」 コメンテーター：加納 治夫 氏（三方よし！近江日野田舎体験推進協議会 事務局） コーディネーター：村雲 和裕 氏（東白川村長期宿泊体験協議会 事務局長） 第2分科会「教育旅行営業の実態に迫る」 コメンテーター：後藤 貴康 氏（株式会社JTB中部本社営業部 地域活性化・地域交流推進課長） コーディネーター：三島 真 氏（郡上・田舎の学校 校長） 第3分科会「教育現場が期待する農村体験とは」 コメンテーター：岩田 真 氏（岐阜市立梅林中学校 教頭） コーディネーター：山田 俊行 氏（安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センター 事務局長）
18:30～21:00	交流会（シャレー中西） 宿泊場所は当日現地にて案内されます。

第2日

時間	内 容
9:00～	受付開始（丹生川文化ホール1Fロビー）
9:30	開会
9:30～9:40	あいさつ
9:40～10:00	分科会報告 報告者：各分科会コーディネーター
10:00～11:00	基調講演「感動と生きる力を育むグリーン・ツーリズムをいかに展開させるか」 講師：河上 一雄 氏（財団法人日本修学旅行協会 理事長）
11:00～11:10	休憩
11:10～12:30	パネルディスカッション「教育旅行誘致の課題解決のために」 パネリスト：加納 治夫 氏（三方よし！近江日野田舎体験推進協議会 事務局） 後藤 貴康 氏（株式会社JTB中部本社営業部 地域活性化・地域交流推進課長） 岩田 真 氏（岐阜市立梅林中学校 教頭） コメンテーター：河上 一雄 氏（財団法人日本修学旅行協会 理事長） コーディネーター：三島 真 氏（郡上・田舎の学校 校長）
12:30	閉会

9 参加者

グリーン・ツーリズム実践者、教育関係者、旅行事業者、関係団体、行政関係者など

10 定員

先着 100 名（ただし、定員を超えた場合でも2日目全体会のみ参加は可能です。）

11 参加費

無 料（ただし、交流会参加（5,000 円）及び宿泊（1泊朝食 5,000 円）を希望される方は、別途現地にてお支払いいただきます。）

12 申込方法

所定の参加申込用紙にご記入の上、岐阜県農政部農村振興課農村企画担当へFAX又はメールでお申し込みください。

問い合わせ・お申し込み 岐阜県農政部農村振興課農村企画担当 河尻 〒500-8570 岐阜市藪田南 2-1-1 TEL.058-272-8460 FAX.058-278-2698 E-mail.c11427@pref.gifu.lg.jp
--